USBポータブルハードディスク
取扱説明書

1　動作環境
パソコン　USBインターフェースを備えたPC/AT互換機
OS　　　Windows 98/Me/2000、MacOS 8.6以上　（外箱にWindowsXP対応と表示）

2　USB Hard Disc Box　表示ランプ
緑　—　通電、待機中
赤　—　使用中（読書き）

○　ハードディスクの装着方法
1.　2. 5インチ　ハードディスクが「マスターモード」であることを確認します。
2.　ハードディスクケースを開き、プリント基板 (Pcb：Printed Circuit Board)を取り出します。
3.　プリント基板にハードディスクを取り付けます。
4.　ハードディスクを取り付けたプリント基板をケースに収め、基板をネジで固定します。

○　Windows 98　用のドライバソフトのインストール
1.　CD-ROMの「win98」フォルダー内の「setup. exe」を実行します。
2.　USBハードディスクをパソコンへ接続します。
3.　しばらくするとUSBハードディスクのアイコンが画面に表示されます。
（ハードディスクをご使用の前に、最初にFDISKプログラム等で、パーテーションをフォーマットする必要があります。パーテーション構築に失敗した場合はパソコンを再起動します。
フォーマット後、ハードディスクのアイコンが表示され、ハードディスクが使用可能となります。）

○　Windows 2000/Me　の場合
ドライバをインストールする必要はありません。本製品をパソコンへ接続し、「マイ コンピューター」をクリックすると、ハードディスクのアイコンが現れます。ステータスバーの右下に接続されていることを示すアイコンが現れます。（ハードディスクをご使用の前に、最初にFDISKプログラム等で、パーテーションをフォーマットする必要があります。パーテーション構築に失敗した場合はパソコンを再起動します。フォーマット後、ハードディスクのアイコンが表示され、ハードディスクが使用可能となります。）

1　Mac OS　用ドライバーソフトのインストール
MAC OS8.6用のドライバソフトは、「GeneUSBCF.SET」で「Mac」のフォルダー内にあります。
1.　このファイルをデスクトップへコピーして、アイコンをダブルクリックすると、自動的にドライバファイルが作成されます。
2.　システムフォルダー内に作成されたドライバファイルを「拡張フォルダー」へコピーします。
3.　ハードディスクをパソコンへ接続して、パソコンを再起動し、しばらくするとデスクトップにハードディスクのアイコンが表示されます。（ハードディスクをご使用の前に、最初にFDISKプログラム等で、パーテーションをフォーマットする必要があります。パーテーション構築に失敗した場合はパソコンを再起動します。フォーマット後、ハードディスクのアイコンが表示され、ハードディスクが使用可能となります。）
4.　MAC OS9.0およびそれ以降のバージョンについては、ドライバーのインストールなしに、ハードディスクが使用できます。ハードディスクをパソコンに接続すると、しばらくして、デスクトップ上にハードディスクのアイコンが表示されます。
（ハードディスクをご使用の前に、最初にFDISKプログラム等で、パーテーションをフォーマットする必要があります。パーテーション構築に失敗した場合はパソコンを再起動します。
フォーマット後、ハードディスクのアイコンが表示され、ハードディスクが使用可能となります。）

○ハードディスクのパーテーションフォーマット

Windows 98/Meの場合

ハードディスクのパーテーションフォーマットは、ハードディスクの初期化が可能になった状態で、FDISKプログラムで行い
ます。ハードディスクの初期化後にハードディスクが正常に作動します。分割方法については以下のとおりです。

1. Windows 98/Meが起動している状態で
2. ハードディスクをパソコンに接続し、パソコンがハードディスクを認識していることを確認します。
3. MS-DOSを起動します
 (1)Windows 98「スタート」→「プログラム」→「MS-Dosプロンプト」
 (2)Windows Me「スタート」→「ファイル名を指定して実行」で「C:\WINDOWS\COMMAND.COM」と入力し、実行します。
4. 「FDISK」と入力し、Enter キーを押します。
5. Windows 2000のハードディスクを分割するための方法は以下のとおりです。
 ハードディスクをパソコンに接続します。「スタート」→「セットアップ」→「コントロールパネル」→「管理ツール」→「コンピューター管理」へ進みます。
 ウィンドウの左に現れた「ディスク管理」をクリックすると、パソコンに接続されたディスクのリストが右側に表示され、同時に、ハードディスクのステータスが表示されます。
 ステータスバー内のUSB接続のハードディスクのアイコンをマウス右ボタンでクリックします。コンピューターの指示にしたがって操作します。

注意:アップルコンピューターで初期化されたハードディスクは、Windowsのパソコンに装備しての使用はできませんが、Windows のパソコンで初期化したハードディスクはWindowsとアップルコンピュータの両方で使用することができます。

1 USBハードディスクの使用方法

USBハードディスクをパソコンに接続する方法

USBハードディスクをパソコンに接続します。しばらくするとハードディスクが認識されます。

USBハードディスクをパソコンから外す方法

Windows 98の場合

表示ランプが待機中の時にUSBケーブルを外します。

Windows 2000/Meの場合

1 ウィンドウ下のタスクトレイ右側に接続中の機器表示あありますので、右クリックします。「取り外す」もしくは「取り出す」という注意表示が現れます。その注意表示を左クリックします。
2 「中止します」という表示ももう一方に現れます。「確認」をクリックします。
3 しばらくすると、「安全に機器を取り外すことができます」という表示が現れ、USBハードディスクを取り外すことができます。

2 USBのアイコン表示の変更方法

ドライブ名をDからEにするなどの名称の変更は、次の操作が必要となります。

1 「コントロールパネル」→「システム」→「ディバイスマネジャー」へ進み、ドライブをダブルクリックし、USBハードディスクを選択し「プロパティ」をクリックします。
2 「セットアップ」をクリックし、「はじめのドライバーの文字」を選択し、そして「終わりのドライバーの文字を選択し、そして、「確認」をクリックします。
3 パソコンを再起動すると、ドライブ名の変更が反映されます。

○注意

USBの電源供給用プラグから、5V/500Aの電気をUSB機器へ供給することができます。ハードディスクを購入時に、ハードディスクの電流が500Aを超えない場合は、USBハードディスクへの電源供給は必要ありませんのでご注意願います。USB電源供給プラグを通じてハードディスクへ電源供給する場合は、パソコンの本体基板に付属のUSBインターフェースへ接続することがよりよい方法といえます。お求めのハードディスクが500Aを超える場合は、パソコン製造会社が販売する電源供給用コードが必要となります。(別売品。詳細については、地元の販売店にお問い合わせください。)

一部の、ラップトップやデスクトップパソコンのUSBインターフェースでは、給電が不十分　あ場合があり、補助の電源が必要となります。

USBハードディスクへ、パソコンから電源を供給する場合、まず、パソコンの電源を落とします。次に、補助電源用プラグを接続して、パソコンを起動し、USBハードディスクを接続します。

警告！　補助電源を使用する場合、接続コードはハードディスクケースを製造した業者の製品しか接続できません。

1　トラブルシューティング

1.　上記説明の方法(フォーマット等)を実施しても、USBハードディスクをパソコンが認識しない場合、「マイコンピューター」→「コントロールパネル」→「システム」→「ディバイスマネージャー」のUSB「ユニバーサル・シリアル・バス・コントローラー」を確認してください。もしも、ここにUSBハードディスクが表示されていない場合は、パソコンを再起動後すぐに(CMOS〔シーモス:Complementar Metal Oxide Semiconductor〕の起動中に)、Del キーを押してください。BIOSメニューの「CHIPSET FEATURES SETUP」もしくは、「INTEGRATED PERIPHERALS」内の「On Chip USB」を「Enabled(有効)」にし、設定を保存し、パソコンを再起動します。
2.　ハードディスクの容量が30GBを超える場合、または、HUBを使用している場合、電源ショートが発生する可能性があります。その場合、キーボードにあるUSBを使用してください。

○技術的な仕様

サイズ:　2.5インチ
厚さ:　９．５mm
ハードディスクケースのサイズ:128mm•　73mm•　12mm
重さ:　80g
使用温度:10～40℃
湿度:8～90%

1　製品内容

USB hard disc(ケース)	1
USB 接続ケーブル	1
ドライバーフロッピー	1(実際はmini CD-ROM)
取扱説明書	1(実際はCD-ROMに収録)
ネジ	2(実際はネジ4本とプラスドライバー付)